

# 令和7年度 学校評価(自己評価・学校関係者評価)報告書

令和 8年 3月 19日  
学校法人暁の星学園 高知聖母幼稚園

## 1. 本園の教育目標

豊かな愛の心を持ち、主体的・積極的に生きる人間性の基礎を育てる

(教育方針)

カトリック精神に基づいた幼児教育を行うとともに、マリア・モンテッソーリの教育指針に沿った人格形成を目指す

(目指す幼児像)

- ・神と人と自然を大切にする子ども
- ・思いやりと感謝の心を持つ子ども
- ・明るく素直な子ども
- ・自分で考え、自分で行動し、責任を持つ子ども

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

モンテッソーリ教育に即した保育内容の充実と、教職員の資質向上を目指す

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	モンテッソーリ教育を基盤とした保育内容の充実	B	今年度はコスミック教育の一環として「食育」に焦点を当て、野菜の栽培から調理、「味わう」までの一連の体験に、年長児を中心とした全園児で取り組みました。この経験から、子どもたちに より生命を大切に思う気持ちが育まれるなど、活動がとても豊かなものとなりました。一方で2学期は行事に追われるような形となり、子どもたちがのびのびと外遊びを楽しんだり、自由に自分を表現したりする「ゆとり」を十分に確保できていなかったのではないかと、日々の園生活の過ごし方を見つめ直すきっかけとなりました。
2	園児募集への取り組みの工夫	B	園児募集の際、ポスターやホームページを新しく整え、園の温かな雰囲気や保護者ニーズを反映した情報発信に重点を置きました。その結果、入園体験会の参加者数が前年を上回り、入園へと繋がったことは大きな成果と言えます。一方で、少子化などにより、募集環境は一層厳しさを増すことが予想されます。今後は本園ならではの特色をさらに明確に打ち出し、継続的な情報発信に努めてまいります。
3	安全対策の強化	B	防災面では、南海トラフ地震を想定した実践的な対策を強化しました。毎月の避難訓練は、年間を通して「予告あり」から「予告なし」へと段階的に移行し、職員および園児の即応力の向上を図りました。また、保護者との引き渡し訓練では、連絡アプリを活用した安否確認を導入し、災害時によりスムーズに保護者と連絡が取り合える事が確認できました。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

#### 4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	<p>今年度は子どもたちの自由を保障することに重点を置き、保育計画を子どもの姿に合わせて柔軟に形作っていく姿勢を職員間で共有しました。しかし、行事のための練習に追われる時期があり、子どもたちの日常生活や、モンテッソーリ教育の根幹である「自由な選択」の時間をいかに確保するかが課題として残りました。来年度は、行事の数や内容、準備期間を抜本的に見直し、子どもたちが自由に創造・表現できる時間的・精神的な余裕を確保できるように保育計画を立てたいと考えます。</p> <p>入園予定の保護者からは「この園の教育を受けさせたい」という期待の声をいただいたことで、園児減少という厳しい状況下においても「質の高い保育内容」こそが最大の強み（入園の決め手）であることを再認識しました。「子どもたちの満足＝保護者の満足＝園の認知度向上」という好循環を職員全員で共有し、職員間の連携を第一に、モンテッソーリ教育に基づいた質の高い保育を実践することで、より選ばれる園づくりに繋げていきたいと考えます。</p>

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

#### 5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	子どもの主体的活動を保障する保育の実現	行事準備による負担を軽減するために内容や期間を抜本的に見直し、子どもたちが本来持っている自発性を発揮できる、時間的・精神的なゆとりが確保できる保育計画を実践していきます。
2	子どもの主体性を引き出し、自律心を育む穏やかな生活環境の確立	自由な活動の土台となる「日常生活における身のこなし」に焦点を当て、子どもたちが自らの心と身体をコントロールし、落ち着いて行動できるように環境を整えます。一つひとつの動きを大切にする生活リズムを整え直すことで、子どもの主体性を引き出しつつ、園生活全体の質の向上を図ります。
3	「安心・安全」を土台とした保護者との絆づくりと、選ばれる園づくり	「子どもの命を守り、その育ちを共に喜ぶこと」が、保護者との信頼の原点であるという認識を全職員で共有します。南海トラフ地震等への防災体制を常に見直し、日々の安全を徹底することで、保護者が心から安心して預けられる環境を守ります。その安心感の上で、一人ひとりの子どもの育ちを積極的に保護者と共有し、心を通わせる関係性を深めることで、地域に愛され選ばれる園づくりに取り組んでまいります。

#### 6. 学校関係者評価委員会の評価

- ・カトリック精神とモンテッソーリ教育を基盤とした『豊かな人格形成』を目指す保育。その中で育った子どもたちは、卒園後、自分でも気づかないうちに『人として何が大切か』という本質を身に付けている事でしょう。今後も子どもたちの個性を伸ばす教育活動を応援しています。
- ・今年度子どもたちと取り組んだ「食育」は、生きていく上でとても大切な事であり、また環境問題としても大変意味のある活動だと感心しました。今後も子どもたちのために、園長先生を中心に職員間で話し合いを重ね、コミュニケーションを取ることを大切にして下さい。
- ・公園で明るく元気に遊ぶ子どもたちの姿から、聖母幼稚園で楽しく園生活を送っている様子がうかがえます。